

建設学部 ディプロマポリシー【DP：めざす学生像】

本校建学の目的を踏まえ、以下の能力や資質を身につけ、修得した学生に卒業を認め専門士を授与する。

1. 基礎知識の修得
建設産業の分野に関する基礎知識を身につけている。
2. 専門知識・技術の修得
学科ごとに掲げる専門分野の知識を修得している。
3. 社会性の修得
社会から喜ばれる人柄を備えた人材で他者と協力して目的を達成する人間力を身につけている。

建築工学科（夜間部）のアドミッションポリシー【AP：入学するにあたり】

1. 『ものづくり』に対して興味・関心があり、建築業界への就職を目指して努力すること。
2. 将来、社会や地域の発展のために貢献したいと思っていること。
3. チームワークに必要な協調性があり、他者とのコミュニケーションや関わりを大切にすること。
4. 入学後の修学に必要な基礎学力があること。

建築工学科（夜間部）のディプロマポリシー【DP：めざす学生像】

1. 基礎知識を身につけている。
2. 建築の専門知識や技術を習得すると共に、それらを活用し社会に貢献できる。
3. 社会人としての人間力を備え、地域社会において建築設計者・建築施工技術者として活躍できる。

【夜間部】建築工学科（2年制）

最終目標

1級建築士・1級施工管理技士を最終目標に、社会に相応できる即戦力として必要な知識を基礎から段階的に学びます。東海地区では本校が唯一、卒業と同時に二級建築士の受験資格が取得できる夜間部の建築系学科を持っている専門学校です。午後6時から午後9時10分までの限られた短い時間で、主要5科目を中心とする集中講義を、一人の講師が一科目を集中して指導します。これにより授業の中に質疑応答の時間を加味しやすく、その場で疑問点を解決することが容易です。また、主要科目の基礎から応用までの連携もしやすく、合理的に建築の勉強ができるのも特徴です。実践に即した応用力までの建築全般の知識を、2年間で効率よく修得します。卒業と同時に『専門士』の称号が付与されます。

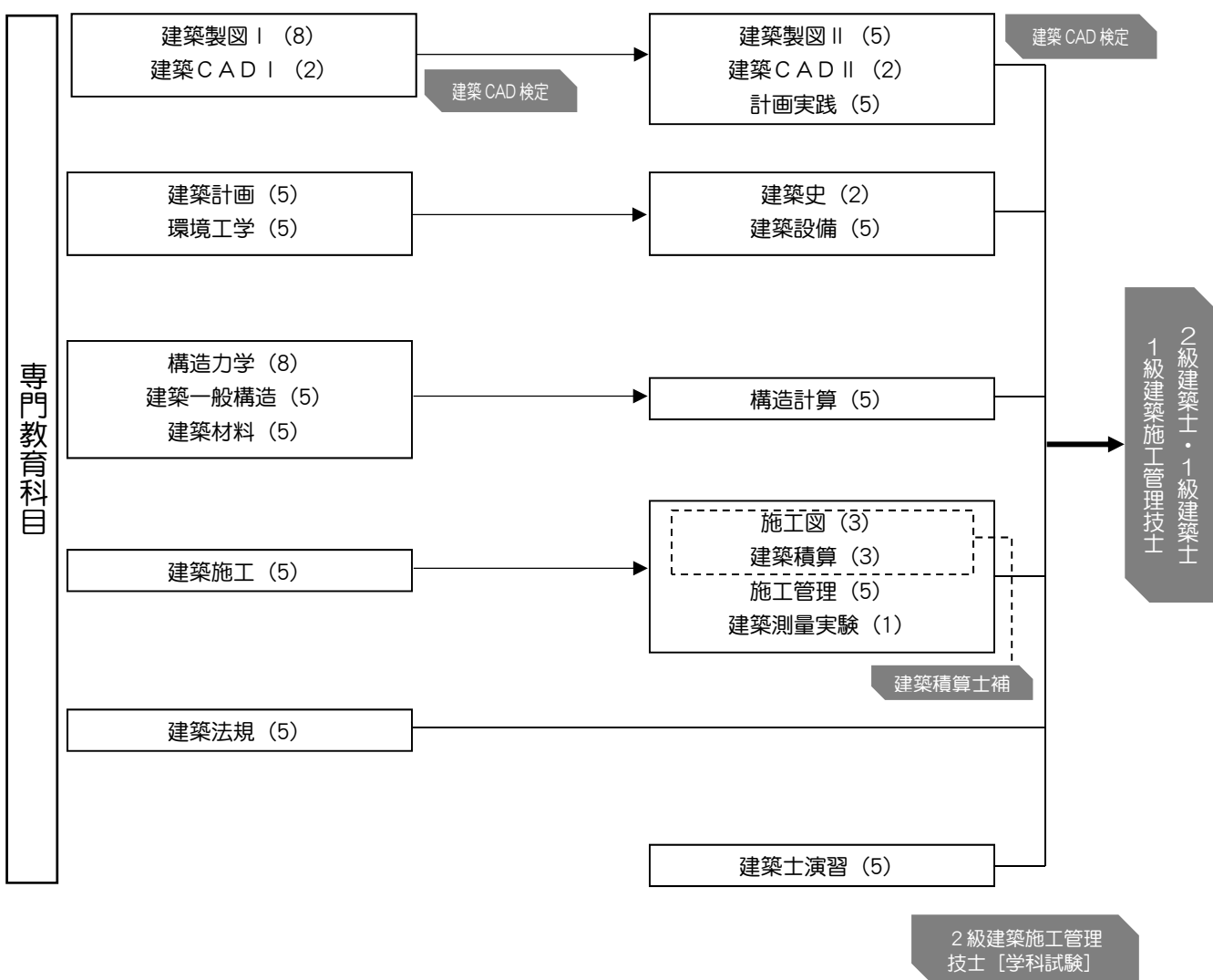
《 1 年 次 》

設計製図、建築計画、環境工学は、住宅設計を中心に製図の基礎から住環境について学びます。製図は初心者にもわかりやすい実習になっています。建築一般構造、建築施工は、造形物として形作られる一連の建築行為で時系列に流れる『モノづくり』の各工程の基礎知識を修得します。

《 2 年 次 》

二級建築士関連の授業と同時に、実務科目としてCAD・測量・施工図・積算・施工管理があります。これらの授業は現役の建築技術者の講師から、現場の技術を具体的に学ぶ機会となります。何ができるのかを問われる就職活動や、就職後の実務において大変役立つものです。

授業科目



資格

建築CAD検定 準1,2,3級（民間試験 技能4月・10月）：建築用図面をCADを使って描く技量を測る試験。（1年次）（2年次）

建築積算士補【建築積算士1次試験】（民間試験 指定科目（建築生産）履修後受験 学科9月）：2次試験合格後に積算士となる試験。（2年次）

2級建築施工管理技士【学科試験】（国家試験6月・11月）：実地試験合格後に主任技術者となる試験。（2年次）

1, 2級建築士試験受験資格（国家試験 [学科] 7月（8月）・[設計製図] 9月（10月））：卒業（指定科目修得単位取得）後受験できる試験。